

- 南筑後圏域では、圏域の特性を踏まえ、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】安全度の低い箇所への河道掘削等を集中的に実施し、流下能力を確保するとともに、排水機場の改修、雨水ポンプ場の増強、排水・浸水対策の計画立案などの内水氾濫対策、雨水流出抑制施設の整備やため池の有効活用などによる流域の雨水貯留浸透機能の向上を図る取り組みを推進し、早期に地域の安全度の向上を図る。
 - 【中期】河川の上下流バランスを考慮し、大牟田川水系などの河川整備を進めるとともに、雨水ポンプ場の耐水化、ため池の治水利用、砂防対策、高潮対策なども実施し、浸水被害の軽減に向けた取り組みを着実に進める。
 - 【中長期】河川整備計画にもとづく河川改修効果の発現を目指すとともに、立地適正化計画の運用や水害リスク情報の共有、防災意識の啓発などに継続的に取り組み、防災・減災体制を強化し、水災害に強い地域づくりを実現する。

南筑後圏域の主な対象水系【隈川水系、堂面川水系、大牟田川水系、諏訪川(関川)水系】

区分	対策内容	実施内容	実施主体	水系名	工程			
					短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削・拡幅、護岸整備等	福岡県	大牟田川水系	→			
			福岡県	諏訪川(関川)水系	→			
			熊本県	諏訪川(関川)水系	→			
			大牟田市	堂面川水系(手鎌野間川)	→			
		河川の浚渫等(流下能力の維持)	福岡県	圏域一円	→			
			大牟田市	市内全域	→ ■■■■ 適宜実施 ■■■■			
	内水氾濫対策	公共下水道(雨水)の整備 農業水利施設(排水機場)の改修 雨水ポンプ場の増強 雨水ポンプ場の耐水化 雨水ポンプ場の耐水化計画策定 下水道施設の耐水化計画策定 排水対策基本計画の策定 浸水シミュレーションによる浸水対策検討 農業水利施設の整備・有効活用 農業水利施設(水路)の整備 水路・側溝の浚渫	大牟田市	堂面川水系、大牟田川水系、 諏訪川(関川)水系	→			
			大牟田市	堂面川水系	→			
			大牟田市	諏訪川(関川)水系	→			
			大牟田市	堂面川水系、大牟田川水系、 諏訪川(関川)水系	→			
			大牟田市	堂面川水系、大牟田川水系、 諏訪川(関川)水系	→			
			荒尾市	諏訪川(関川)水系	→			
			大牟田市	市内全域	→			
			荒尾市	諏訪川(関川)水系	→			
			福岡県	圏域一円	→			
			みやま市	隈川水系	→			
			大牟田市	市内全域	→ ■■■■ 適宜実施 ■■■■			
			荒尾市	諏訪川(関川)水系	→ ■■■■ 適宜実施 ■■■■			
			雨水貯留浸透機能の向上	大牟田市	堂面川水系	→		
				大牟田市	堂面川水系	→		
福岡県	圏域一円	→						
大牟田市	市内全域	→						
大牟田市	隈川水系、堂面川水系、 諏訪川(関川)水系	→						
大牟田市、みやま市、 荒尾市、南関町	圏域一円	→						
福岡県	圏域一円	→						

※対策メニューは代表的な事例を記載。スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～明治日本の産業革命を支えた地域を水災害から守る圏域が一体となった流域治水の推進～

南筑後圏域の主な対象水系【隈川水系、堂面川水系、大牟田川水系、諏訪川(関川)水系】

区分	対策内容	実施内容	実施主体	水系名	工程		
					短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	砂防対策	砂防施設の整備	福岡県	隈川水系	→		
	高潮対策	高潮堤防・護岸の整備	福岡県	三池港海岸	→		
	森林整備、治山対策	森林整備事業の実施	福岡県、熊本県	圏域一円	→		
治山施設の整備		福岡県、熊本県	圏域一円	→			
被害対象を減少させるための対策	水災害リスクを考慮した立地適正化計画の検討・運用	立地適正化計画の見直し・運用 ※計画策定済	大牟田市	市内全域	→		
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	学校施設の受変電設備の耐水化	大牟田市	堂面川水系、諏訪川(関川)水系	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の共有	各種浸水想定区域図(または過去の浸水実績範囲)の作成・公表	福岡県、熊本県、大牟田市	-	→		
		各種ハザードマップの作成・公表	大牟田市、みやま市、南関町		→		
		庁舎・病院・要配慮施設への水害リスク情報の提供及び避難確保計画の策定・浸水防止対策の検討支援	福岡県、熊本県、大牟田市		→		
	防災意識の啓発	マイハザードマップ・マイタイムラインの作成及び自主防災組織の設立	福岡県、熊本県、大牟田市		→		
		まるごとまちごとハザードマップの整備	福岡県		→		
		防災教育、出前講座の実施及び水防災学習の支援	気象台、福岡県、大牟田市、みやま市、荒尾市		→		
	リアルタイム防災情報の共有	防災意識啓発のための広報活動	気象台、福岡県、大牟田市、みやま市		→		
		警戒レベルに応じた防災気象情報の周知	気象台		→		
		避難指示の適切な発令・周知	大牟田市、みやま市		→		
	住民等への防災情報の周知	水位計・量水標・河川監視カメラの設置	福岡県、熊本県、大牟田市、みやま市、南関町		→		
		防災情報サイトの周知	福岡県、大牟田市		→		
		様々な防災情報提供ツールや情報提供媒体を活用した防災情報伝達の強化・多重化	気象台、福岡県、大牟田市、みやま市、荒尾市		→		
	重要水防箇所や河川巡視情報の共有・周知	重要水防箇所の共同点検	福岡県、熊本県、大牟田市、みやま市		→		
		重要水防箇所の周知	福岡県、熊本県		→		
		河川巡視情報の共有	福岡県、みやま市		→		
	水防体制の維持強化	水防資機材の配備・確認	福岡県、みやま市		→		
	タイムラインの作成、ホットラインの構築	タイムラインの作成・運用	福岡県、熊本県、大牟田市、みやま市		→		
		関係機関のホットラインの構築	気象台、福岡県、熊本県、大牟田市、みやま市		→		
	関係機関の連携・協力体制の確保、人材育成	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	福岡県、大牟田市、みやま市、荒尾市		→		
		自主防災組織・水防団・防災リーダーの育成、河川協力団体との連携	福岡県、大牟田市、みやま市		→		
	避難場所や避難路の確保	広域的な避難計画の立案や避難場所の検討	福岡県、みやま市		→		
		避難場所・避難経路の確保・点検・見直し	大牟田市、みやま市		→		
	避難行動に繋がる計画立案及び訓練実施	タイムライン等に基づく実践的な避難体制の構築及び避難訓練の実施	福岡県、大牟田市、みやま市		→		
要配慮者利用施設の避難計画の立案及び避難訓練実施		福岡県、熊本県、大牟田市	→				
水害リスクの高い地域での住民との共同点検・避難訓練の実施		福岡県、大牟田市、荒尾市	→				
復旧・復興の迅速化	災害対策の活動拠点となる官庁施設の電力の確保	荒尾市	→				
	浸水時の排水強化(排水計画立案、排水ポンプ車の配置、排水訓練の実施等)	福岡県、大牟田市、みやま市	→				
経済被害の軽減・早期復旧	医療機関・福祉施設のBCP(事業継続計画)・浸水対策・耐水化	みやま市	→				

※対策メニューは代表的な事例を記載。スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
※「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」は実施済・実施中のももあり、それらを含め、今後継続的に運用するため、中長期に区分する。